

株式会社宮崎太陽銀行
2024年9月期決算について
(ダイジェスト版)

1 . 連結決算-概要	11 . 2025年3月期の業績予想 (単体)
2 . 損益-概要 (単体)	12 . 地域経済活性化への取組み (販路開拓支援)
3 . 損益-業務粗利益の状況 (単体)	13 . 地域経済活性化への取組み (大学との連携事業)
4 . 損益-資金利益の状況 (単体)	14 . 地域経済活性化への取組み (人材紹介支援)
5 . 損益-経費の状況 (単体)	15 . 地域経済活性化への取組み (各種セミナー開催)
6 . 損益-与信費用・不良債権の状況 (単体)	16 . 地域経済活性化への取組み (各種セミナー開催)
7-1 . お取引先への事業支援の取組み	17 . 地域経済活性化への取組み (宮崎太陽キャピタル)
7-2 . お取引先への事業支援の取組み	18 . 地域経済活性化への取組み (宮崎太陽キャピタル)
8 . 貸出金の状況 (単体)	19 . 2024年度の主な取組み
9 . 預金の状況 (単体)	
10 . 自己資本比率 (単体・速報値)	

1. 連結決算－概要

- ① 当期連結決算は、5期ぶりの減収減益（経常利益ベース）
- ② 経常収益は、株式等売却益の減少により前年同期比227百万円減少の7,352百万円
- ③ 経常利益は、前年同期比159百万円減少の1,235百万円
- ④ 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比250百万円減少の869百万円
- ⑤ 自己資本比率は、0.13ポイント上昇し8.27%

1. 連結経営成績

(単位：百万円)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年9月期 業績予想
		2023年9月期比	業績予想比		
経常収益	7,352	▲ 227	752	7,580	6,600
経常利益	1,235	▲ 159	585	1,395	650
親会社株主に帰属する中間純利益	869	▲ 250	469	1,120	400

2. 連結自己資本比率

(単位：百万円、%)

	2024年9月期		2024年3月期	2023年9月期
	速報値	2024年3月期比		
自己資本比率	8.27%	0.13%	8.14%	8.38%
自己資本の額	36,797	669	36,128	36,080
リスクアセット	444,830	1,012	443,818	430,248

2. 損益－概要【単体】

- ① 業務粗利益は、前年同期比48百万円減少の4,841百万円
- ② コア業務純益は、前年同期比36百万円増加の930百万円
- ③ 与信費用は、前年同期比122百万円増加の226百万円
- ④ その結果、中間純利益は、前年同期比254百万円減少の862百万円

(単位：百万円)

	2024年9月期			2023年9月期	2024年9月期 業績予想
		2023年9月期比	業績予想比		
業務粗利益	4,841	▲ 48		4,889	
経費（除く臨時処理分）（▲）	3,929	▲ 118		4,047	
コア業務純益	930	36	180	894	750
与信費用（▲）	226	122	▲ 24	104	250
経常収益	6,261	▲ 135	661	6,396	5,600
経常利益	1,166	▲ 164	566	1,330	600
特別損益	11	16		▲ 5	
税引前中間純利益	1,177	▲ 147		1,325	
法人税等合計	315	106		209	
中間純利益	862	▲ 254	462	1,116	400

3. 損益－業務粗利益の状況【単体】

- ① 資金利益は、前年同期比106百万円減少の4,920百万円
- ② 役務取引等利益は、前年同期比18百万円増加の▲69百万円
- ③ その他業務利益は、前年同期比38百万円増加の▲9百万円

(単位：百万円)

	2024年9月期		2023年9月期
		2023年9月期比	
業務粗利益	4,841	▲ 48	4,889
資金利益	4,920	▲ 106	5,026
役務取引等利益	▲ 69	18	▲ 87
その他業務利益	▲ 9	38	▲ 48

4. 損益－資金利益の状況【単体】

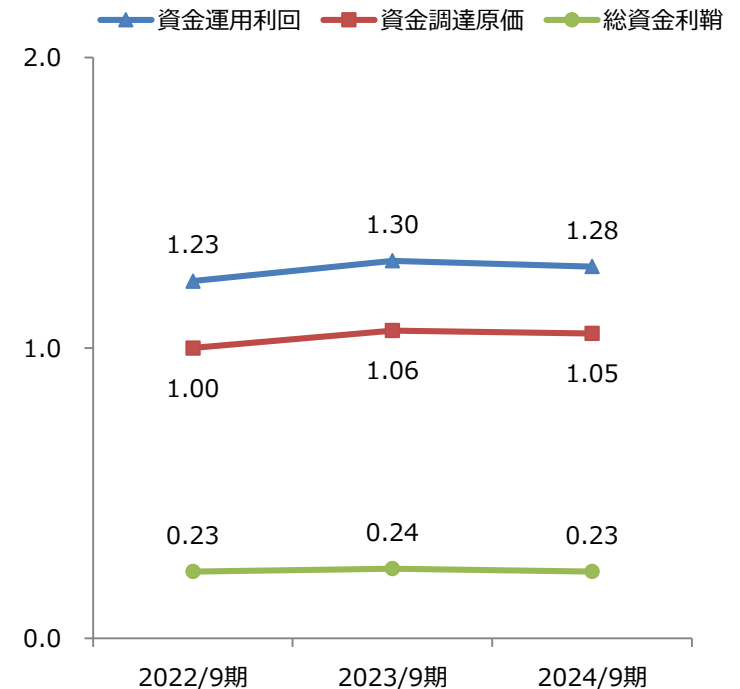
- ① 資金利益は、前年同期比106百万円減少の4,920百万円
- ② 中小規模事業者等向け貸出金利息は、前年同期比53百万円増加の2,354百万円
- ③ 円預金利息は、前年同期比101百万円増加の123百万円
- ④ 貸出金利回は、前年同期比0.01ポイント低下の1.49%

(単位：百万円)

	2024年9月期		2023年9月期		2022年9月期
		2023年9月期比		2022年9月期比	
① 資金利益	4,920	▲ 106	5,026	49	4,977
資金運用収益	5,043	▲ 4	5,048	45	5,003
貸出金利息	4,150	65	4,085	12	4,073
② (うち中小規模事業者等向け)	2,354	※ 53	2,301	※ 26	2,275
(うち地公体)	88	14	74	▲ 1	75
有価証券利息配当金	806	▲ 98	904	73	831
その他受入利息	86	27	58	▲ 39	97
資金調達費用	123	101	22	▲ 3	25
③ 円預金利息	123	101	21	▲ 4	25

<利鞘の推移>

(単位：%)



利鞘

(単位：%)

④ 資金運用利回 (A)	1.28	▲ 0.02	1.30	0.07	1.23
貸出金利回	1.49	▲ 0.01	1.50	▲ 0.02	1.52
(うち中小規模事業者等向け)	1.45	▲ 0.01	1.46	0.00	1.46
有価証券利回	1.00	▲ 0.13	1.13	0.09	1.04
資金調達原価 (B)	1.05	▲ 0.01	1.06	0.06	1.00
預金等利回	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00

5. 損益－経費の状況【単体】

- ① 経費は、前年同期比118百万円減少の3,929百万円
- ② うち人件費は、前年同期比44百万円減少の2,115百万円
- ③ うち物件費は、前年同期比35百万円減少の1,546百万円
- ④ うち税金は、前年同期比38百万円減少の267百万円

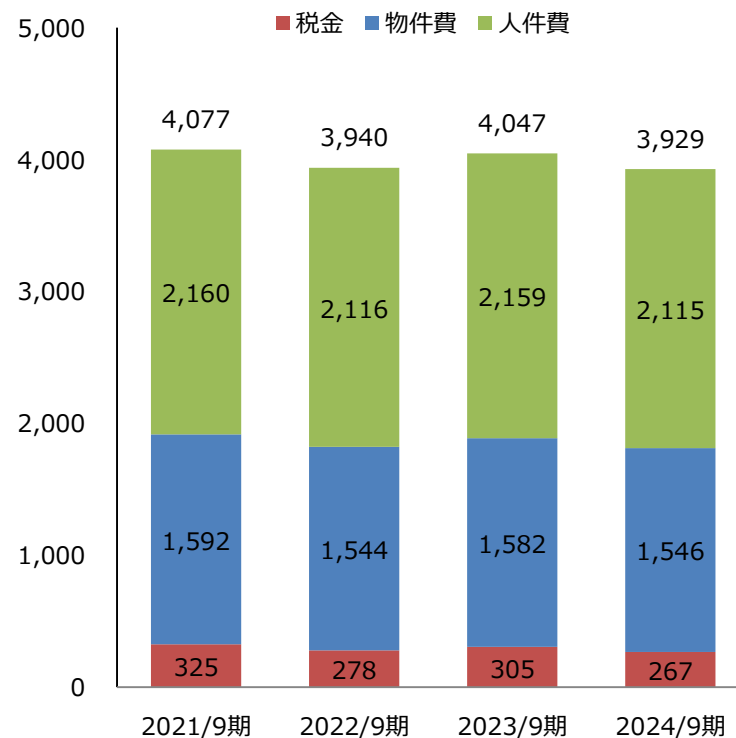
経費内訳

(単位：百万円)

	2024年9月期		2023年9月期
		2023年9月期比	
経費	3,929	▲ 118	4,047
人件費	2,115	▲ 44	2,159
物件費	1,546	▲ 35	1,582
税金	267	▲ 38	305

<経費内訳の推移>

(単位：百万円)



6. 損益－与信費用・不良債権の状況【単体】

- ① 与信費用は、前年同期比122百万円増加の226百万円
- ② 金融再生法開示債権額は、前年同期比895百万円増加の10,252百万円
- ③ 開示債権の総与信に占める割合は、前年同期比0.13ポイント上昇の1.84%

与信費用

(単位:百万円)

	2024年9月期		2023年9月期
		2023年9月期比	
与信費用	226	122	104
一般貸倒引当金繰入額	135	82	53
不良債権処理額	91	40	51

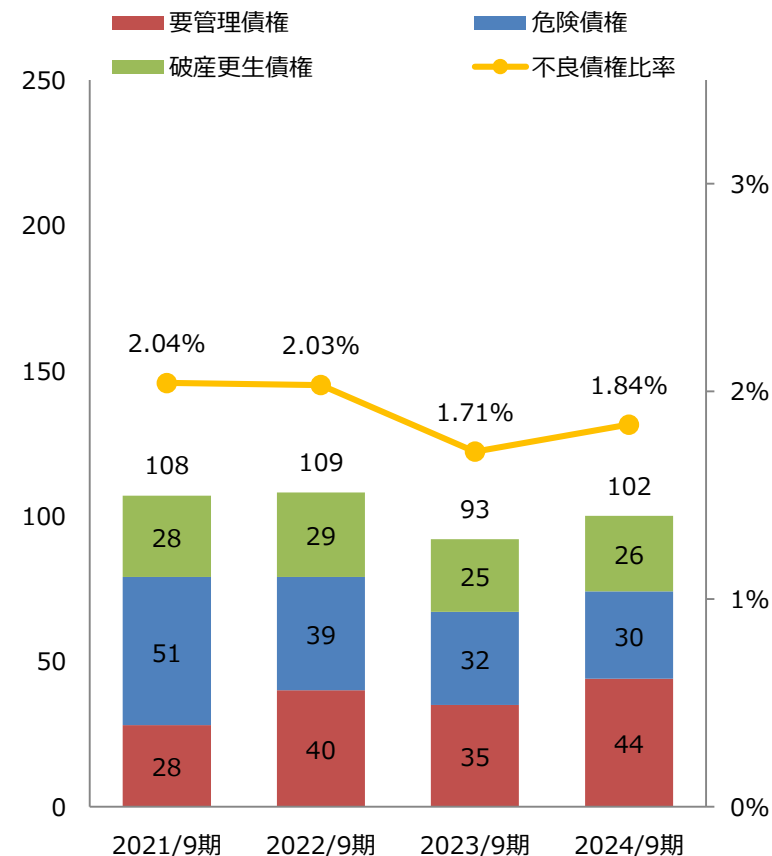
金融再生法開示債権

(単位:百万円、%)

	2024年9月期		2023年9月期
		2023年9月期比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,675	164	2,511
危険債権	3,088	▲ 194	3,283
要管理債権	4,487	925	3,561
小 計 (A)	10,252	895	9,357
正常債権	544,011	7,232	536,779
合 計 (総与信)	554,264	8,127	546,136
開示債権 (A) の総与信に占める割合	1.84%	0.13%	1.71%

<金融再生法開示債権の推移>

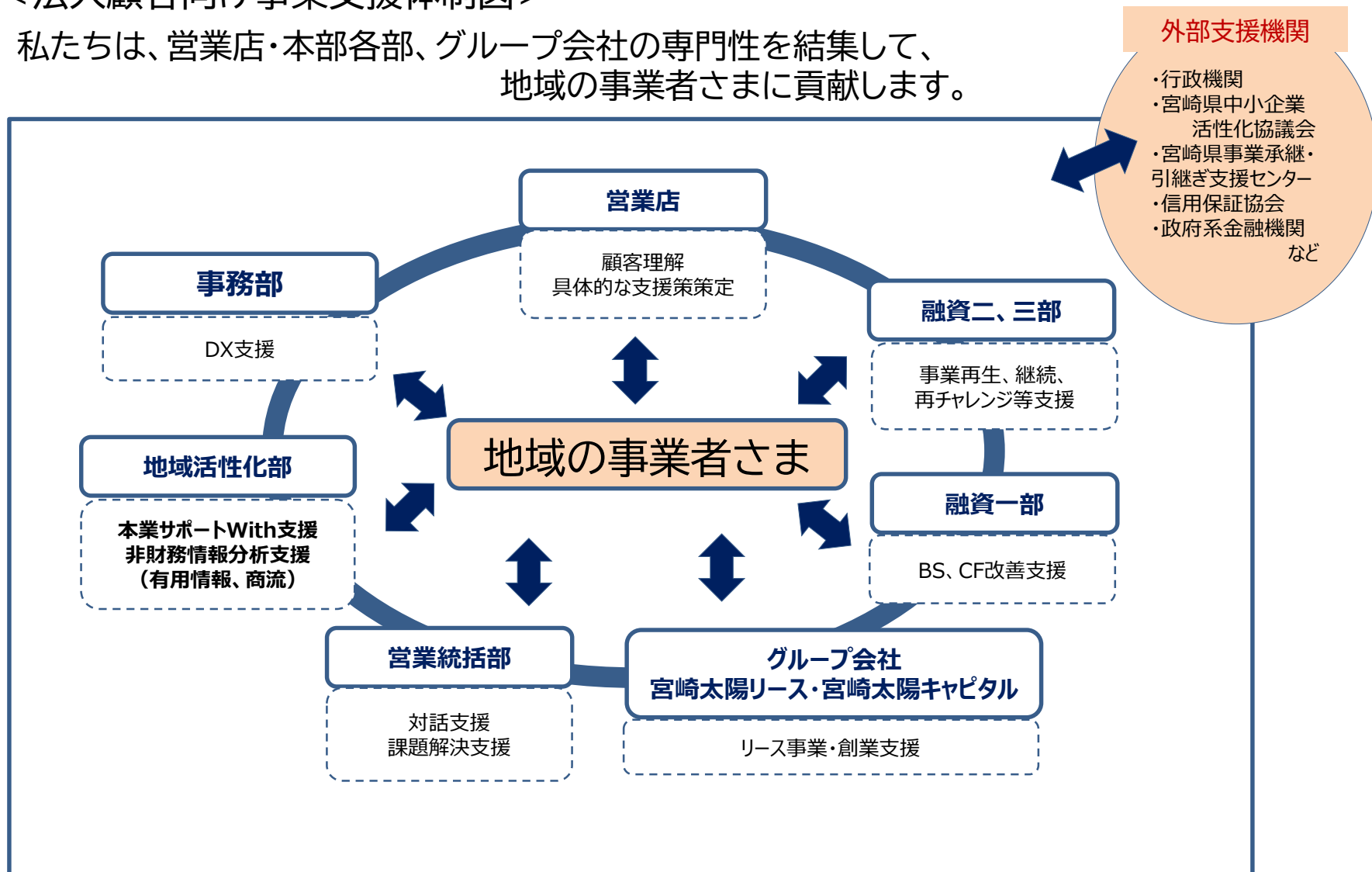
(単位:億円、%)



7-1. お取引先への事業支援の取組み

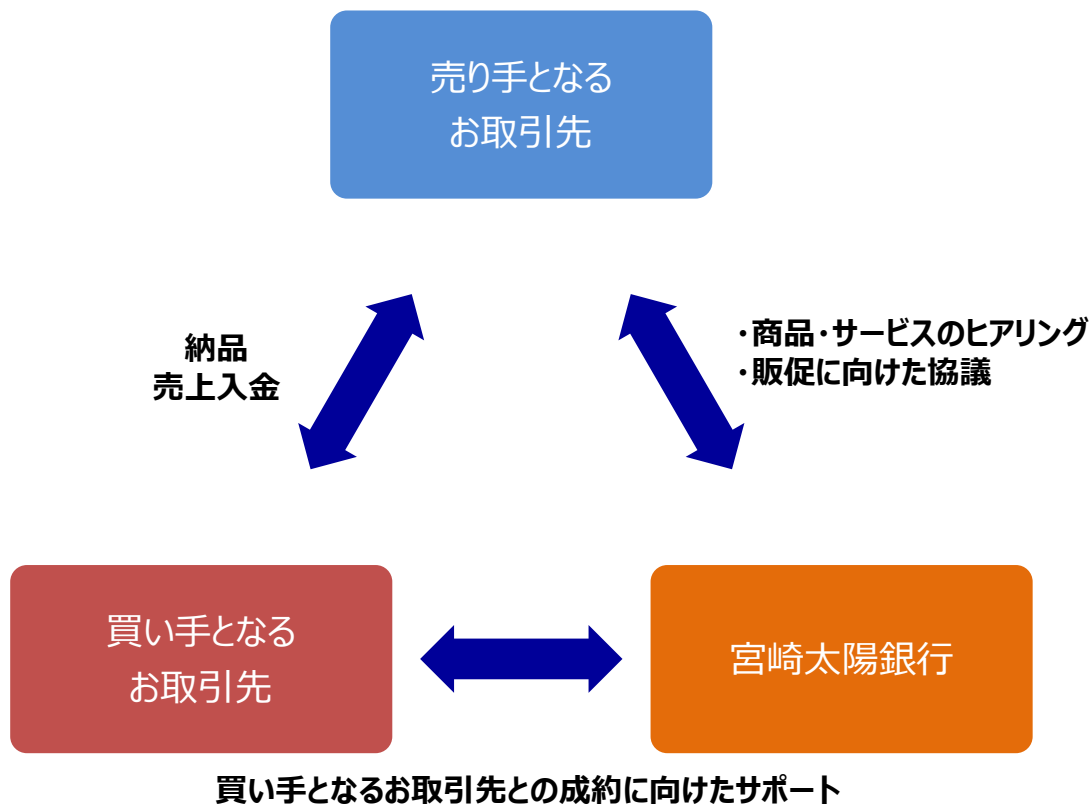
<法人顧客向け事業支援体制図>

私たちは、営業店・本部各部、グループ会社の専門性を結集して、地域の事業者さまに貢献します。



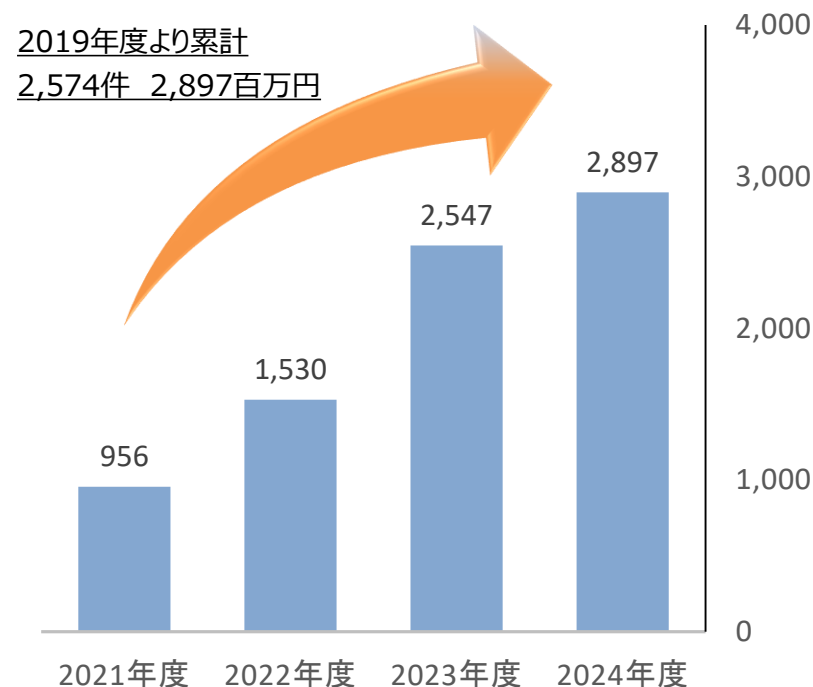
7-2. お取引先への事業支援の取組み

2019年度より業務を開始している販路開拓支援サービス「本業サポートWith」では、当行行員一人一人がお取引先の取扱い商品・サービスを深く理解し、これまでのビジネスマッチングより一歩踏み込んだサービスとして展開しています。『本サービスでは、「売り手」となるお取引先だけでなく、「買い手」となるお取引先の事業運営の改善にも繋がるサービスとして取り組んでいます。』
2024年度上期の実績は、350百万円で業務開始以降累計2,574件の**2,897**百万円を計上しています。



＜累計売上貢献金額の推移＞

(単位：百万円)



8. 貸出金の状況【単体】

- ① 中小規模事業者等向け貸出は、前年同期比末残59億円、平残79億円増加
これに伴い、貸出金全体の末残は前年同期比82億円増加の5,536億円
- ② 2015年12月期対比の末残では、金融機関等向け貸出が263億円減少した一方、
中小規模事業者等向け貸出末残884億円の増加により、ポートフォリオを改善

末残

(単位：百万円)

	2024年9月期			2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期	2020年9月期	金融機関向け 貸出ピーク (参考値)
	2024年9月期	2023年9月期比	2015年12月期比					
貸出金	553,684	8,280	-	545,404	540,524	529,412	516,945	(参考値)
個人向け	148,746	2,912	-	145,834	141,044	135,377	131,160	2015年12月期
中小規模事業者等向け貸出	325,001	5,904	88,497	319,097	316,930	310,297	294,768	236,504
金融機関等向け貸出	2,000	▲ 1,000	▲ 26,398	3,000	3,000	3,000	7,000	28,398
その他	76,937	▲ 536	-	77,473	79,550	80,738	84,017	

平残

(単位：百万円、%)

	2024年9月期			2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期	2020年9月期
	2024年9月期	2023年9月期比	2020年9月期比				
貸出金	552,297	11,258	46,044	541,039	533,259	522,481	506,253
個人向け	148,263	3,555	17,276	144,708	139,580	133,731	130,987
中小規模事業者等向け貸出	323,115	7,922	39,017	315,193	310,809	303,561	284,098
その他	80,919	▲ 219	▲ 10,249	81,138	82,870	85,189	91,168
貸出金に占める中小規模事業者等向け貸出割合	58.50%	0.24%	2.38%	58.26%	58.28%	58.10%	56.12%

9. 預金の状況【単体】

- ① 預金は、前年同期比末残150億円、平残177億円増加の末残7,659億円、平残7,673億円
- ② 中長期では、2020年9月期比、末残694億円増加、平残906億円増加

未残

(単位：百万円)

	2024年9月期			2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期	2020年9月期
	2023年9月期比	2020年9月期比					
預金	765,985	15,017	69,483	750,968	736,222	717,724	696,502
個人	551,145	7,222	62,290	543,923	536,274	515,247	488,855
法人	214,839	7,794	7,192	207,045	199,948	202,476	207,647

平残

(単位：百万円)

	2024年9月期			2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期	2020年9月期
	2023年9月期比	2020年9月期比					
預金	767,394	17,719	90,690	749,675	735,834	713,457	676,704
個人	552,705	7,558	71,900	545,147	535,544	514,271	480,805
法人	214,689	10,161	18,790	204,528	200,290	199,185	195,899

(注) 法人預金には、公金預金・金融機関預金を含んでおります。

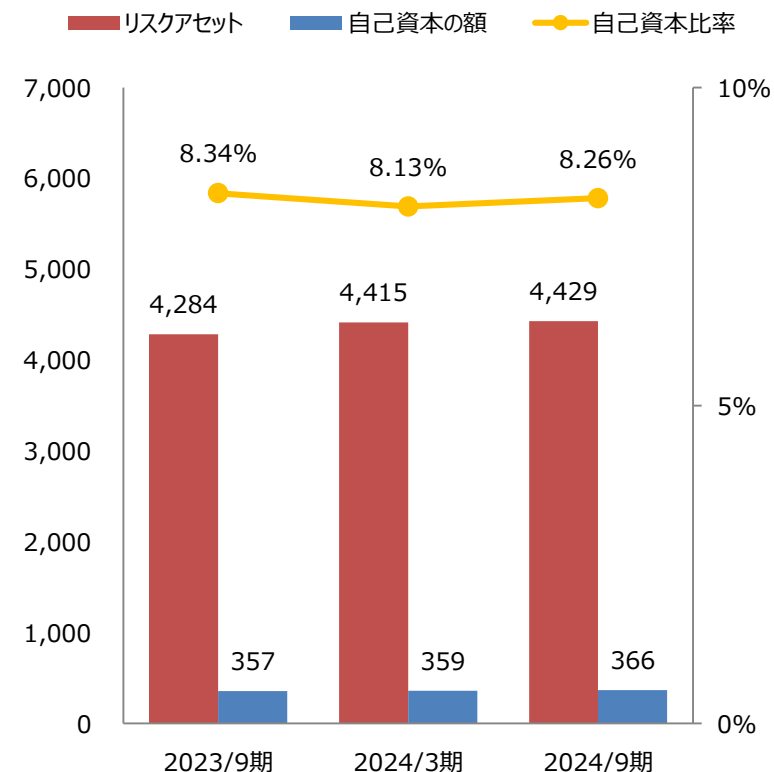
10. 自己資本比率【単体・速報値】

2024年9月期の自己資本比率は、利益の積み上げにより、2024年3月比0.13ポイント上昇の8.26%

(単位：億円、%)

(単位：百万円、%)

	2024年9月期		2024年3月期	2023年9月期
	速報値	2024年3月期比	実績	実績
自己資本比率	8.26%	0.13%	8.13%	8.34%
自己資本の額	36,612	686	35,926	35,770
リスクアセット	442,911	1,314	441,597	428,430



11. 2025年3月期の業績予想【単体】

- ① 2024年度通期の業績予想は、
 コア業務純益 : 1,700百万円
 経常収益 : 12,000百万円
 経常利益 : 1,600百万円
 当期純利益 : 1,100百万円 を見込む
- ② 2024年度通期の与信関係費用は500百万円を見込む

(単位：百万円)

	2024年9月期 中間期予想	2024年9月期 中間期実績	2025年3月期 通期予想
コア業務純益	750	930	1,700
経常収益	5,600	6,261	12,000
経常利益	600	1,166	1,600
当期純利益	400	862	1,100
与信関係費用	250	226	500

地域経済活性化・社会貢献への取組み



12. 地域経済活性化への取組み（販路開拓支援）



第二地方銀行主催 『食の魅力』発見商談会2024に出展

2024年6月18日、全国の加盟第二地方銀行を実行委員とする、食品事業者向け商談会「食の魅力」発見商談会が開催され、当行お取引先からは製茶事業者様が参加しました。総出展者数1,538社、参加バイヤー数2,100名と大規模な商談会で、終日活発な商談・情報交換が行われました。

今回参加された事業者様も、30社以上のバイヤーと名刺交換し、20社以上から具体的な見積り依頼を受けるなど今後の新規取引に繋がる結果となりました。



13. 地域経済活性化への取組み（大学との連携事業）



宮崎大学認定連携協力コーディネーター報告・検討会

宮崎大学との連携事業の一つとして、「認定連携協力コーディネーター」に認定された当行及び当行グループ会社職員が、お取引先の技術相談や知財相談を宮崎大学へ取り次ぐほか、宮崎大学と当行による合同検討会を実施しています。また、鹿児島大学における同様の制度においても、2021年10月より当行行員1名がコーディネーターとして認定され、鹿児島県内のお取引先の事業課題等を鹿児島大学に橋渡ししています。

直近の鹿児島大学の事例としては、廃菌床の有効活用を模索している椎茸栽培のお取引先の課題について協議を行い、菌床の繊維化について研究している教授へお取次ぎしました。



菌床



廃菌床

14. 地域経済活性化への取組み（人材紹介支援）



2020年3月より人材紹介業務を開始しており、お取引先の課題の一つである人材確保について支援しています。また、大企業等による副業解禁の流れが拡大しており、都市部企業等の副業人材を紹介することで、お取引先の課題解決の支援を行っています。

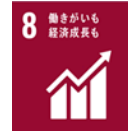
【副業人材による課題解決支援事例】

SNSを活用したブランド力向上、販路拡大を模索していたブライダル等貸衣装事業者様に対し、副業人材の活用を提案し、SNS運営会社勤務の副業人材と契約しました。

契約した副業人材の方の広告代理店勤務経験の知見や人脈を生かし、当社55周年記念イベントを企画し開催しました。PR戦略においては、最終的に205社のメディア露出も実現し大きな自社PRに繋がりました。



15. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



次世代塾の開講（延べ265名受講）

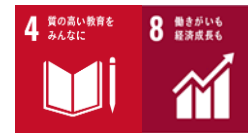
経営層や後継者等を対象とする企業人材育成支援セミナー「次世代塾」を2014年度より毎年開講しています。経営者に必要な基礎や、現状の経営課題を打破するための応用を学ぶ機会を、実践演習を交えながらご提供しています。**これまで延べ265名が受講されており、うち18名の新代表者が誕生しています。**

2024年度につきましては、6月より第10期次世代塾を開講しており、2024年6月から2025年5月まで各テーマごとに全12回開催します。



（写真は2024年度の次世代塾の様子）

16. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）



行内研修のノウハウを活用し、地元企業や各種機関の人材育成に役立てていただくため、『太陽セミナー』を開催しました。

当行では、1971（昭和46）年から、太陽セミナーを開催しています。このセミナーは、当行が行内向けに開催してきた「新人研修」や「接遇研修」のノウハウを活用し、お取引先の事業活動に役立ててもらうことが目的です。2024年度は、7事業所の約150名の方が受講しています。

【太陽セミナーの様子】



▲宮崎県社会福祉協議会



▲INOBECH協同組合



▲向陽化工株式会社

宮崎太陽キャピタルの活動紹介



医療DX促進への取組みについて

宮崎太陽キャピタルの投資先に、「誰もがどこにいても、質の高い医療を受けられる世界を実現する」ことを目的に設立した研究開発型スタートアップ企業があります。

心音と心電を同時に取得して、心疾患の診断をアシストする医療機器「超聴診器」と、「超聴診器」で計測された心音・心電情報をクラウド上にアップロードすることで聴診音の可視化や解析結果等を表示する遠隔診療支援システム「クラウド超診®」の社会実装を目指しています。

当社独自の技術である「超聴診器」「クラウド超診®」は、過疎地域や離島へ普及させることも目的としており、医療格差の低減に繋がります。

当キャピタルは、地域住民の皆さまが質の高い医療を受けられるよう、当社の事業を支援してまいります。



18. 地域経済活性化への取組みの一例（宮崎太陽キャピタル）

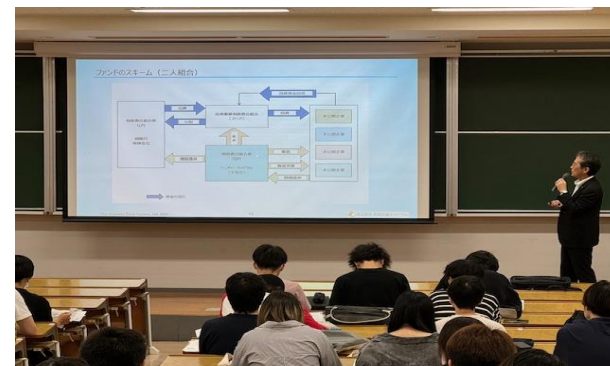
宮崎産業経営大学経営学部／宮崎大学大学院工学研究科で講演を実施

宮崎太陽キャピタルは、今年度も宮崎産業経営大学と宮崎大学において、「ベンチャーキャピタルとは？」というテーマで講演を行いました。講演では、ベンチャーキャピタルの業務内容、投資と融資の違い、それぞれの手法による調達の特長・デメリット等、資金に関する情報提供に加え、お取引先の経営に深く関与して、企業価値の向上に向けたご支援を行うという重要な役割を担っていることを説明しました。

具体例としては、投資事例だけでなく、資金面以外でのご支援の事例など、地元の事業者様の成長を通じて地域貢献に努めるべく行っている活動を紹介させていただきました。

次世代を担う、宮崎の大学生の皆さんに少しでも興味を持っていただき、宮崎におけるスタートアップ企業創出に向けた機運の醸成につながることを期待しています。

宮崎産業経営大学



2024年6月20日

宮崎大学



2024年7月29日

2024年度の主な取組み



19. 2024年度の主な取組み

第3期の太陽系会議が進行中（24年7月～25年3月）

若手行員による『太陽系会議』を通じたブランディングCM制作に取り組んでいます。「地方銀行」から「地元銀行」へ、をコンセプトに会社を元気にする若い力を中心に、自分たちで考え、動き、自らの手でブランドイメージを創りました。今回は、「若者×地元ぎんこう」をテーマに、若手行員の新たな誇りと自信に繋がる活動を行っています。



▲第3期太陽系会議の様子

19. 2024年度の主な取組み

障がい者向け体験会のボランティア参加



- 2027年に宮崎で開催される全国障がい者スポーツ大会に向けた「チャレンジスポーツ」へボランティアスタッフとして2020年から参加しています。



宮崎県教育委員会へ招待券寄贈



- 地元子どもたちが芸術の素晴らしさに触れる機会を提供できればとの想いで、「テオ・ヤンセン展」協賛特典として受け取った招待券を贈呈しました。



ラブリーマタウン「小さな親切運動」



- 年2回、清掃活動に取り組んでおります。2024年度第1回では、行員、行員家族を含む35名が参加しました。



19. 2024年度の主な取組み

『アグロポリスコンテスト』の取組み



- 農業や食を核とした地域活性化策を提案する「アグロポリスコンテスト」（宮崎産業経営大学主催）に参加しています。
- 最優秀賞受賞者を、「宮崎太陽銀行頭取賞」として表彰させていただいております。



『みやっ子タウン』に参加



- 様々な仕事を体験して子供たちに社会の仕組みを学んでもらおうというイベント「みやっ子タウン」（宮崎市青少年育成連合会主催）に参加しました。
- 札勘や給料を渡す役割を体験してもらい、お金の管理、循環させることの重要性を感じてもらいました。



アシスト企業としての取組み



- 県の教育推進事業であるアシスト事業への取組みとして、アシスト企業に登録し、学校で仕事の内容や、企業が求める人材等について講演させていただき、地域の教育活動に参加しています。



19. 2024年度の主な取り組み

地域のお祭りへの参加



- 『宮崎神宮大祭 御神幸行列』に当行行員が参加いたしました。その他に、延岡市のばんば踊りや都城市の盆地祭りなど、各地の祭事や地域行事に多くの行員が参加させていただいています。



TKC・宮崎県信用保証協会との勉強会開催



- 2024年7月に、TKC会員及び宮崎県信用保証協会の職員と当行行員が集い、「決算書の信頼性の見極め方」や「各種制度融資」に関する勉強会を実施しました。



店舗戦略



▲延岡支店完成予想図

- お取引先の利便性を第一に考えた店舗の効率的な運営に取り組んでおります。
- 2024.04 大塚北店舗内店舗化 (in大塚)
- 2024.08 高千穂支店出張所化及び移転
- 2025.07 延岡支店新築オープン予定

